

高等学校 地理歴史科 (日本史 A) 学習指導案

指導教諭： 先生

実習生： 関西大学 ④

日時： 6月9日 (金) 第2時限

実施学級： 第2学年 8組 40名 (男21名、女19名)

場所： 第2学年 8組教室

1. 単元名：「殖産興業と文明開化」

2. 使用教科書：『改訂版 日本史 A』山川出版社

『改訂版 詳録 新日本史史料集成』『最新 日本史図表』第一学習社

3. 本時の主題：「文明開化」

○題材観……本時の題材は、明治時代初期において西洋の技術・文化がどのように取り入れられ、日本の人民・思想・都市に反映したのか、「文明開化」とは具体的にどのようなものであるのか、理解することを目的とする。明治維新・富国強兵・殖産興業など各段階において明治政府が推進した政策の根本には「近代化」があり、これは「西洋化」という言葉でも表すことが可能である。世界に対して閉鎖的であった江戸時代とは様変わりし、明治時代においては西洋の技術・文化・思想が進んで取り入れられた。これは欧米と渡り合う国づくり、国のための人づくり、に繋がるものであった。また、列強に肩を並べるような国づくりのため、封建的制度の廃止が進められつつ、国内には諸外国からの新しい風が吹き、その中で明治時代の文化が確立していった。

○生徒観……本学級の生徒は活発な者が多く、また授業に熱心に取り組む姿勢が見られる。ただし、数名の生徒の集中力の途切れが目立ち始めると、次々と教室内に伝播してしまう傾向があるため、生徒の関心を一定に保ち続ける工夫、思考を働かせ続けるような課題や問題を提示することが必要である。

○指導観……本時ではグループワークを利用したアクティブラーニングの取り入れを目指す。生徒に配布するワークプリントは重要語句がすべて穴埋め形式になっており、記入すべきキーワードや人物名を各自で教材内から探す作業を行わせる。グループを作り、各グループで協力・作業分担しながら、制限時間内でそれらのワークに取り組ませる。ワーク中の教師はタイムキーパーを務めながら机間巡視にて各グループの進捗を確認する。グループごとに答えを共有し、本時の主発問である「文明開化とはなにか」という問いに対してグループの考えをまとめ、発表を行わせる。授業終盤では、プリント内の重要語句についての解説、また資料・写真を用いて強調することで学習の定着・印象付けを図る。

4. 単元の指導計画：「殖産興業と文明開化」

・「貨幣の統一と銀行の創設」	…第1時
・「地租改正」	…第2時
・「殖産興業」	…第3時
・「文明開化」	…第4時 (本時)

5. 本時の指導目標

【関心・意欲・態度】…本時の主題である文明開化に対する関心を持ち、意欲的にグループワーク活動をする。また、チーム内で協力をしながら互いの意欲を高めあい、学習に取り組む。

【思考・判断・表現】…「文明開化」について各グループで考えをまとめ、「文明開化とは…である」という文型で表現できるようにする。

【技能】…図表・教科書等を使い、求められている情報を的確に収集する能力を身につける。

【知識・理解】…導き出した答えを図表・教科書等を用い、語句だけでなく人物や解説と結び付けて理解する。また、グループ内で答えを共有する際、他者に説明できるだけの知識を習得する。

6. 本時の展開：(→p.3より記載)

7. 評価：

- ①文明開化の中で生まれた新たな文化・制度を意欲的に学び、理解することができたか。
- ②グループの中で積極的にワークに取り組み、互いに協力し合うことができたか。
- ③図表・教科書等を効率的に用いながら、絵・写真・解説等と結び付けて理解することができたか。

6. 本時の展開

時間	指導内容	生徒の学習活動	指導上の留意点
導入	<p>3分</p> <ul style="list-style-type: none"> グループワークに向けてグループ分け (黒板に指示を記しておく) 本時テーマの提示 「文明開化」 前時の内容 (明治維新・富国強兵) の振り返り。 <ul style="list-style-type: none"> →閉鎖的だった日本がどのように国交を開き国力を培おうとしたのか。 →そのような動きが日本国内にどのような影響を与えたのか、どのような文化・事物・制度が確立されたのか。 	<p>挨拶・号令</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒板の指示に従い机を動かし、グループを作成する。 学習開始態勢を整える。 前時内容の想起と確認。 教師の話聞きながら重要語句の想起。 <ul style="list-style-type: none"> (例) 「明治維新」「富国強兵」 封建的秩序の廃止&西洋文化の取り入れ/近代化 …版籍奉還、廃藩置県、廃刀令、秩禄処分、国民皆兵、徴兵令など 	<ul style="list-style-type: none"> グループ作りを迅速に完了できるよう指示をする。 学習開始態勢が整っているか確認する。 集中できていない生徒がいる場合は発問をする。
展開	<p>10分</p> <p>15分</p> <p>指示①: プリント穴埋め作業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 文明開化について作成されたワークプリントに、グループで取り組ませる。 役割分担・範囲分担をさせる。 制限時間の告知をする。 教師はタイムキーパーを務める 	<p>指示①に従う。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内での役割分担を行う。 制限時間を把握しながら協力して穴埋め作業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師はワーク中、机間巡回を行い各グループの進捗を確認する。 グループによって進行に差がでないよう配慮する。 難易度の高い問題に関してはヒントの提示を行う。(グループ単位、全体)
	<p>5分</p> <p>10分</p> <p>指示②: 書き込んだ答えのグループ内共有</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ全員の答えを合わせて1枚のプリントの穴埋めが完了していることが目標。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当範囲の穴埋めが完了次第、指示②に従い答え共有に取り掛かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人作業を進めているものがあれば声をかけ、グループワークへの参加を促す。 グループ間での意見交換を促進する。

	<p>10分</p> <p>15分</p> <p>指示③: 「作業のストップ」</p> <p>教師による重要語句解説</p> <ul style="list-style-type: none"> 重要語句は生徒に発問し、答えさせる。 個人を当てるが、分からない場合はグループで協力して解答を答えても良い。 のちに勉強する自由民権運動への繋がりと「思想」「ジャーナリズム」、受験知識である「宗教」についても解説。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問に対して答える。 分からない場合はグループ内に協力を求め、解答する。 板書をノートに写す。 「廃仏毀釈」や「尊王攘夷」の漢字に注意して書き写す。 	<p>解説箇所</p> <p>自由民権運動への繋がりに「天賦人權思想」「福沢諭吉」「明六社」「明六雑誌」</p> <p>板書宗教に関して</p> <p>神道・仏教・キリスト教の立ち位置の変化。</p> <p>「尊王攘夷思想」+「神道の国教化」…「仏教排斥」「廃仏毀釈」へ</p>
	<p>10分</p> <p>15分</p> <p>指示④: グループワークの実施</p> <p>「文明開化」とはなにか</p> <ul style="list-style-type: none"> 穴埋めプリントでの学習、重要語句解説などを聞き、「文明開化」とはなにか、各グループで考える。 「文明開化とは……である。」の定型文に従い作成させる。 <p>指示⑤: グループごとに発表</p> <ul style="list-style-type: none"> グループの中から代表者を指名 まとめた答えを発表させる。 意見はそれぞれ板書する。 全グループ発表後に答えの発表を行う。 「文明開化」像の確認 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを振り返り、「文明開化」をきいて思い浮かぶキーワードやイメージを各自書き出す。 書き出した内容をグループ内で共有、「文明開化とは……である。」に当てはまる表現を模索する。 	<ul style="list-style-type: none"> キーワード書き出しがはかどっていない場合は、例として2、3の語句、もしくはヒントを提示する。 <ul style="list-style-type: none"> →「文明開化とは、<どこから>の<なに>が<どうなった>のか」等 各班の意見に関しては、全班発表後にコメントや評価を行う。
まとめ	<p>残り時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 残りの穴埋め箇所に対し、答え合わせのための解答を配布。 本時の振り返り。 最終授業の挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> 各自解答を確認し、間違っている箇所は必ず訂正を行うこと。 本時内容の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業終了後、机を元の形に戻すよう指示。